

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【公開番号】特開2015-64(P2015-64A)

【公開日】平成27年1月5日(2015.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-001

【出願番号】特願2014-123573(P2014-123573)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|--------|-----------|
| C 1 2 N | 5/0789 | (2010.01) |
| A 6 1 K | 35/14 | (2015.01) |
| A 6 1 K | 35/28 | (2015.01) |
| A 6 1 P | 7/06 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 43/00 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 15/113 | (2010.01) |

【F I】

| | | |
|---------|-------|---------|
| C 1 2 N | 5/00 | 2 0 2 Q |
| A 6 1 K | 35/14 | Z |
| A 6 1 K | 35/28 | |
| A 6 1 P | 7/06 | |
| A 6 1 P | 43/00 | 1 0 7 |
| C 1 2 N | 15/00 | Z N A G |

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月16日(2017.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

造血幹細胞または前駆細胞を増殖させる方法であって、

対象から単離された造血幹細胞または前駆細胞を、V e n t X ポリペプチドの発現を阻害するモルホリノオリゴヌクレオチドと接触させ、それによって前記造血幹細胞または前駆細胞の増殖を高める工程、

を含む、方法。

【請求項2】

前記オリゴヌクレオチドが、配列番号5～18および配列番号29～69からなる群から選択される配列を有する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記造血幹細胞または前駆細胞は、前記対象の骨髄、末梢血、または臍帯血から得ることによって単離される、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

対象における一次性または二次性骨髄不全症候群を治療するための細胞医薬を製造する方法であって、

一次性または二次性骨髄不全症候群を有する対象から単離された造血幹細胞または前駆細胞を、V e n t X ポリペプチドの発現を阻害するモルホリノオリゴヌクレオチドと接触させ、それによって前記造血幹細胞または前駆細胞の増殖を高める工程を含み、

前記対象への投与用の前記細胞医薬は、増殖を経た前記造血幹細胞または前駆細胞の有

効量を含む、方法。

【請求項 5】

前記オリゴヌクレオチドが、配列番号 5 ~ 18 および配列番号 29 ~ 69 からなる群から選択される配列を有する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記造血幹細胞または前駆細胞は、前記対象の骨髓、末梢血、または臍帯血から得ることによって単離される、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

一次性または二次性骨髓不全症候群が、貧血症、脊髄形成異常症候群、または、化学療法もしくは放射線療法の合併症である、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

一次性または二次性骨髓不全症候群が貧血症である、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

一次性または二次性骨髓不全症候群が脊髄形成異常症候群である、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

一次性または二次性骨髓不全症候群が化学療法の合併症である、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 11】

対象における造血幹細胞または前駆細胞を増殖させるための医薬組成物であって、
V e n t X ポリペプチドの発現を阻害するモルホリノオリゴヌクレオチドを含み、必要としている対象への投与によって前記対象における前記造血幹細胞または前駆細胞の増殖を高める、医薬組成物。

【請求項 12】

対象における一次性または二次性骨髓不全症候群の治療用の医薬組成物であって、
V e n t X ポリペプチドの発現を阻害するモルホリノオリゴヌクレオチドを含み、必要としている前記対象への投与によって前記対象における造血幹細胞または前駆細胞の増殖を高める、医薬組成物。